

# 私の横越町

# 思いさまざま

(シリーズ④)

## 自然と人にやさしい

町づくり

「横越町の誕生」おめでとうございます。

都市化が進み町並みも整備

横越町体育指導委員  
伊藤千賀

され私が嫁いだ16年前に比べ

特に中心部は、発展の様子が伺えます。しかし一度、阿賀野川の堤防に足を踏み入れ見渡すと、山と川、そして人々が手を尽くして耕した畠が目に飛び込んできます。この自然に人の手が加えられても、調和のとれたみごとな景観を見る度に心洗われ、この土地に住む人々の暖かい素朴な心に触れる度に感激致しております。



ぼくは横越村が町になって、どう変わるのは、よくわからないけど、いいことなんだろうなと思います。

でも、今までのよう、村っぽくはってんしていったのでは変わりがないので、もっと町らしくなっていってほしいです。

だから、亀田町にも負けないような、りっぱな町になってほしいです。

だけど、はってんばかりを気にしすぎて、自然はかいをするのはいやです。すこしくらいならしかたないけれど、あまりこわしすぎると、逆にみにくくになってしまいそうな気がするからです。

それで、むずかしいけど、自然がたくさんあって、それでいて、りっぱな町になってほしいということです。

本当に、これはむずかしいことです、できれば、こんなふうな町になってほしいです。

## 自然と人にやさしい

町づくり

「横越町の誕生」おめでとうございます。

都市化が進み町並みも整備

横越町体育指導委員  
伊藤千賀

され私が嫁いだ16年前に比べ

特に中心部は、発展の様子が伺えます。しかし一度、阿賀野川の堤防に足を踏み入れ見渡すと、山と川、そして人々が手を尽くして耕した畠が目に飛び込んできます。この自然に人の手が加えられても、調和のとれたみごとな景観を見る度に心洗われ、この土地に住む人々の暖かい素朴な心に触れる度に感激致しております。

## 町制施行にあたり

五頭山を東に仰ぎ、悠久に流れる阿賀野川のように、ひかり輝く里、我が村も念願の町制が、11月1日に施行されました。

横越町商工会長 谷井篤光 我が横越町では、向こう21世紀にふさわしい記念すべき年であり、住んでよかったです快適な生活ができ、将来の夢を語れるふる里であってほしいものです。我が町は、新潟市のベッドタウンとして、国道49号線の整備、又新横雲橋等々美田都市化の開発が進み、目覚ましい発展をしております。我々商工業者には、規制緩和、大店法、価格破壊等で、不安な面はありますが、バランスの取れた活気ある町、阿賀の里「横越町」の新たなる発展を期待しております。

私は町になって、ぜひこのようなことが実現できればいいなと思うことが二つあります。

まずは一つは、木津にバスを通してもらいたいことです。私達が高校に入ると、駅を使う人もでてきます。冬になれば、道路が凍結してとても危険です。だから、ぜひ実現させてほしいとおもいます。

二つ目は、医療・福祉の充実です。今後、福祉センターができると聞いています。その他にも、将来できれば大きな病院を作りたいです。近くに大きな病院があれば、安心していられるし、通うにもそんなに時間がかかるはずです。私は将来は看護婦になるつもりです。そこで、地元の人とふれあいながら仕事ができるなんて幸せなことだと思います。だから、このことが将来実現したらいいなと思っています。

## 町制施行にあたり

五頭山を東に仰ぎ、悠久に流れる阿賀野川のように、ひかり輝く里、我が村も念願の町制が、11月1日に施行されました。

横越町商工会長 谷井篤光 我が横越町では、向こう21世紀にふさわしい記念すべき年であり、住んでよかったです快適な生活ができ、将来の夢を語れるふる里であってほしいものです。我が町は、新潟市のベッドタウンとして、国道49号線の整備、又新横雲橋等々美田都市化の開発が進み、目覚ましい発展をしております。我々商工業者には、規制緩和、大店法、価格破壊等で、不安な面はありますが、バランスの取れた活気ある町、阿賀の里「横越町」の新たなる発展を期待しております。

## 健やかな老後を

夏に北海道に旅した時、主人の友人との会話の中で、私共の住所が話題になりました。大字二本木2387番地とは、新潟のどんなところですか。

横越町民生児童委員 仲村ヒロ いかに山深い奥地の印象をもつたらしく、私の方で「新潟駅から車で20分のところに自宅がありますよ」と返事をしたところ大笑いになってしまいました。町と村では、うけとり方が、随分と誤解を招くようです。

私の夢は、老後を考えるとき、心豊かに、そして誰とも仲のよい交流をして、ゆったりとした気持ちで健やかな人生を送りたいと考えていますが、村から町になってしまっても自然を大事にし、緑豊かな、そして都市と調和のとれた街づくりをねがっています。



## 私の横越町

社会情勢の潮流は物の豊かさから心の豊かさへ変わってきているように思われます。

これから核家族化や高齢化がされつつある、昔のムラ社会が持っていた大家族や集落内の楽しいふれあいが戻ってきて欲しいと思います。天気のいい日には、若い恋人連れ、幼児を連れた若夫婦やちびっ子たち、リタイヤした熟年夫婦、すべての世代が同じ場所で自然の風景を楽しめる。花とみどりの中での、気軽な挨拶や立ちばなしが、「いい一日」をつくってくれると思います。



小6年 神田能典

ぼくは横越村が町になって、どう変わるのは、よくわからないけど、いいことなんだろうなと思います。

でも、今までのよう、村っぽくはってんしていったのでは変わりがないので、もっと町らしくなっていってほしいです。

だから、亀田町にも負けないような、りっぱな町になってほしいです。

だけど、はってんばかりを気にしすぎて、自然はかいをするのはいやです。すこしくらいならしかたないけれど、あまりこわしすぎると、逆にみにくくになってしまいそうな気がするからです。

それで、むずかしいけど、自然がたくさんあって、それでいて、りっぱな町になってほしいということです。

本当に、これはむずかしいことです、できれば、こんなふうな町になってほしいです。

私は町になって、ぜひこのようなことが実現できればいいなと思うことが二つあります。

まずは一つは、木津にバスを通してもらいたいことです。私達が高校に入ると、駅を使う人もでてきます。冬になれば、道路が凍結してとても危険です。だから、ぜひ実現させてほしいとおもいます。

二つ目は、医療・福祉の充実です。今後、福祉センターができると聞いています。その他にも、将来できれば大きな病院を作りたいです。近くに大きな病院があれば、安心していられるし、通うにもそんなに時間がかかるはずです。私は将来は看護婦になるつもりです。そこで、地元の人とふれあいながら仕事ができるなんて幸せなことだと思います。だから、このことが将来実現したらいいなと思っています。

ぼくは、最初町になると聞いてびっくりしました。想像もしていなかったからです。人口が1万人をこえたので、町になったのだと思います。

ぼくは、2年前亀田町に住んでいました。横越村に比べると、亀田町には、田や畠が少なかったと思います。でも、横越村は、田や畠が多く、緑もたくさんあって、住みやすいと感じました。

横越町になって、変わってほしいところが二つあります。一つは、木の多い、緑豊かな町になってほしいです。そして、人口が増えてもごみなどが落ちていない、きれいな町にしたいです。

もう一つは、何でも売っている便利な町になってほしいです。10年後、にぎやかな町になってほしいです。



私は、最初、「横越村が町になる」という話を聞いたとき、おどろきました。けれど、少しうれしかったです。私は村の方が、静かだし、緑が多いし、車の通りもはげしくないので事故も少ないし、いい

と思っていました。それなのに、そのニュースを聞いたときに、少しうれしく思ったのは、たぶん、亀田町をうらやましく思っていたからだと思います。私の家の近くには、大きな店などがないので、自転車に乗って横越に行くか、お母さんといっしょに行くしかできなかったので、少しうれしかったんだと思います。それと、テレビなどに横越町が出たり、有名になるのは、とてもうれしいです。

横越村へ、町になっておめでとう。